

My City Kawaguchi

マイシティかわぐち



1/7(火)~19(日)

アートな年賀状展2020

アートギャラリー・アトリアで開催。令和初の年賀状展となる今年
は、926点の個性的な年賀状が集まりました。

川口鷹消防組
木遣保存会による木遣



川口市三曲連盟による琴の演奏

1/6(月)

新春交礼会

リアアで開催。各種団体や町会・自治会関係者など約1,400人が
参加し、令和初の新年を祝いました。



1964東京オリンピック聖火台への点火式

1/13(祝) はたちの集い

成人の日にリアアで開催。晴れ着や真新しいスーツに身を
包んだ新成人3,602人が参加し、成人としての第一歩を
踏み出しました。

また、新成人を祝うため、キュポ・ラ広場に展示されている
1964東京オリンピック聖火台に火がともされ、多くの新
成人が記念撮影をしました。



はたちの集い実行委員



みんなでつくる 川口の元気

vol.64

みなさん、こんにちは。暖冬とはいえさすがに冷え込む今日この頃ですが、暦のうえでは間もなく立春を迎えます。少しずつ寒さが緩み、梅の便りが届くなど、春はすぐそこまで来ています。どうぞ元気にお過ごしください。

さて、今回は川口の自然環境を将来にわたって残していくための取り組みとして、昨年8月から11月まで実施した「川口いきもの調査」の結果を報告します。

この調査は、市民のみなさんに身近な生き物に関心を持ってもらい、生物多様性への理解を深めてもらうきっかけづくりのひとつです。調査にご協力いただく調査員を募集したところ、6歳から84歳という幅広い年齢層の119名にご登録いただきました。そして、シオカラトンボ、アゲハチョウ、ミンミンゼミの3種類の指標生物を中心にたくさんの報告をいただきました。報告の中には、最近ではすっかり見かけなくなったタマムシやオニヤンマ、さらには埼玉県版レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類のニホンアカガエルなど希少な生き物も含まれていました。これらは、私が子どもの頃にはよく見かけたものです。自然環境が損なわれている中、こうした希少な生き物が川口で観察されたのはうれしい限りです。そして、この結果は、生息・生育場所のみならず、その生き物を取り巻く地域の自然環境の実態把握にも活かせると考えています。

今後も「川口いきもの調査」を実施し、それぞれの地域環境に応じた自然保護対策に



取り組むことで、川口の貴重な自然環境を次世代に引き継ぎ、さらには希少種の生息数を増やしていき、みなさんと一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

「川口いきもの調査」の結果がまとまりました

川口市長 奥ノ本信夫



1/11(土)

拉致問題を考える川口の集い

フレンディアで開催。約300人が参加し、拉致被害者家族などの講演後、埼玉県立鳩ヶ谷高等学校合唱同好会と拉致問題を考える川口の会が「あなたを忘れない」を合唱し、被害者の早期帰国を願いました。



本町小学校



並木小学校

1/15(水)

文部科学大臣表彰受賞報告

学校保健表彰を受賞した本町小学校と学校給食表彰を受賞した並木小学校の児童と教諭が市長を表敬訪問。日々の取り組みを報告しました。

市広報番組「ふれあい川口」

J:COM川口・戸田/J:COM埼玉東 2月3日～9日
(月～金曜日12:00～12:30、土・日曜日9:00～9:30)
市ホームページ 2月3日～